

保健だより 3月

高浦中学校
保健室
3月号①
2023.3.9

3年生のみなさんへ

いよいよ明日、中学校の卒業式ですね。おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症に振り回された中学生活3年間だったと思います。でも、その中で自分自身の力を精一杯発揮して、高浦中学校の卒業生として、元気に、立派に巣立ってくれることを、とてもうれしく思います。



ときにはけがをして処置をしたり、休み時間に相談にきてくれたり、おしゃべりしたり、みなさんと過ごした日々はとても楽しかったです。4月からはそれぞれの新しい生活がスタートします。これからも心身ともに自分のペースで健康第一に過ごしてくださいね。応援しています！

みなさんに贈りたい詩

「朝のリレー」



カムチャッカの若者が
きりんの夢を見ているとき
メキシコの娘は
朝もやの中でバスを待っている
ニューヨークの少女が
ほほえみながら寝がえりをうつとき
ローマの少年は
柱頭を染める朝陽にウインクする
この地球で
いつもどこかで朝がはじまっている



ぼくらは朝をリレーするのだ
経度から経度へと
そうしていれば交替で地球を守る
眠る前のひととき耳をすますと
どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる
それはあなたの送った朝を
誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ

『朝のリレー』

この詩を読むと世界って広いと感じます。そしてつながっている。……安心感を感じます。

「いつもどこかで朝がはじまる。」
時差があるからリレーのようになるのですが、素敵な表現です。どこかで夜を迎えたとしても同じ時にどこかで朝がはじまっている。

世界の繋がりを連想します。

一人じゃないということ。

人との繋がり。『朝のリレー』を読むと、自分は一人じゃないんだと実感することができます。

今でもずっと心に残っている詩です。

(谷川俊太郎「谷川俊太郎詩集 続」思潮社 より)